

このニュースは東京都レンジャーの活動や、自然の情報などを皆様へお伝えするものです。

- ・山の中のちょっと気になる地形
- ・サポートレンジャーと共に守る自然公園
- ・遠足に同行して来ましたー!!
- ・知ってる? 横断溝

山の中のちょっと気になる地形

自然公園のキーワードの一つに「風景地」があります。その風景の大まかな形を作るのが、地形でしょう。今回は、東京都レンジャーが巡視中に見かけた、山の中のちょっと気になる地形を紹介します。



川苔山

棒ノ折山

V字の形に凹んだ谷

多摩地域の山地の多くが、自然公園に指定されています。その山のほとんどは、大昔に海底に降り積もった土砂などでできた地層が、隆起してできました。

山の中にある谷の多くは、急な斜面に挟まれ、V字の形に凹んでいます。水の流れが山々を刻むことにより、このような地形ができました。

このV字の形の凹みのため、多摩地域の山では、谷底から急斜面を尾根に登り上げるまでの歩き始めの1時間位は、歩き応え満点です。

尾根の上の緩い凹み

多摩地域の山の中で尾根や斜面を歩いていると、地面が波のようにうねり、傾斜が緩やかになった場所に出会うことがあります。

尾根の上なのに小さな谷が入っていて不思議な感じです。巡視中に見かけることがある、山の中のちょっと気になる地形です。

実はこの地形、水の流れに削られてできたものではありません。長い年月の間に、山が重力によって変形してできた地形なのです。多摩地域の山で、ぜひ、探してみてください。



長沢背稜の二重山稜



地理院タイルに東京都及び自然公園の境界を加筆

道脇の石灰岩

登山道の脇に、滑らかであり見かけない形の白い岩があれば、きっと石灰岩でしょう。多摩地域の石灰岩は大昔のサンゴ礁に由来しています。



水に溶かされて不思議な形になっている!

